



2013(平成25)年7月26日

各 位

会 社 名 日本アセットマーケティング株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長最高執行責任者 越塚 孝之  
(コード番号：8922 東証マザーズ)  
問 合 せ 先 取締役最高財務責任者 栗原 裕二  
電 話 番 号 06-6232-7770 (代表)

### 固定資産の取得に関するお知らせ

当社は、2013年7月26日開催の当社取締役会において、当社の親会社である株式会社ドン・キホーテ及び同社の連結子会社が保有する固定資産の一部を取得（以下「本取得」といいます。）する方針を決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 取得の理由

2013年4月に実施した第三者割当増資により、株式会社ドン・キホーテの100%子会社である株式会社エルエヌが当社株式の49.20%を保有したことから、当社は株式会社ドン・キホーテの連結子会社となり、以降、ドン・キホーテグループの保有する不動産の効率的な運用について、同社と協議を行ってまいりました。

本取得は、ドン・キホーテグループの組織再編の一環として、同グループ各社が保有する固定資産のうち建物を当社に集約し、当社のノウハウを活かしたさらなる効率的活用・管理を図るためのものであります。

#### 2. 取得資産の内容

株式会社ドン・キホーテ及び同社の連結子会社が保有する固定資産のうち、建物（同社2013年3月末連結貸借対照表計上額（純額）：61,902百万円）の大半を取得する予定であります。

取得資産の具体的内容、取得価額等につきましては、確定次第別途お知らせいたします。また、取得資金の調達については、金融機関と協議中であります。

#### 3. 取得の相手先（2013年7月26日現在）

(1) 名称	株式会社ドン・キホーテ
(2) 所在地	東京都目黒区青葉台2丁目19番16号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役会長兼社長兼CEO 安田 隆夫
(4) 事業内容	総合ディスカウントストア事業

(5) 資本金	20,613百万円 (2013年6月末)	
(6) 設立年月日	1980年9月5日	
(7) 連結純資産	162,707百万円 (2013年3月末)	
(8) 連結総資産	391,233百万円 (2013年3月末)	
(9) 大株主及び持株比率 (2013年6月末現在)	ラマンチャ	11.56%
	安田 隆夫	9.95%
	株式会社安隆商事	5.32%
	ザ チェース マンハッタン バンク 385036	4.51%
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3.95%
	ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505225	3.81%
	ビービーエイチ フォー フィデリティ ロープライズドストックファン ド (プリンシパル オールセクター サポートフォリオ)	3.25%
	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3.16%
	メロンバンク エヌエー アズ エージェント フォー イッツ クライア ント メロン オムニバス ユーエス ペンション	2.87%
	ノーザン トラスト カンパニー エイブイエフシー リ フィデリティ ファンズ	2.34%
(10) 当社と当該会社との関係	資本関係	当該会社100%子会社の株式会社エルエヌが、当社株式1,360,000株(議決権所有割合49.20%)を所有しております。
	人的関係	当該会社より、取締役3名、監査役2名の派遣を受けております。
	取引関係	当社と、当該会社及び当該会社100%子会社の株式会社エルエヌは、資本業務提携契約を締結しており、①当社による、当該会社グループに対する、当該会社グループの所有不動産の効率的運用のための助言及び知見・ノウハウの提供、並びに②当該会社の知名度を活用した、当社のサービスの利用者及び認知度の拡大のための各種施策について、別途合意するところに従い、協業を行うことを合意しております。
	関連当事者への 該当状況	当社は当該会社の連結子会社に該当します。

#### 4. 取得の日程

取締役会決議日、契約締結日、物件引受け日等につきましては、確定次第別途お知らせいたします。

#### 5. 今後の見通し

2014年3月期に与える影響については現在精査中ではありますが、今後業績に重大な影響を与えると判断した場合には、速やかにお知らせいたします。

#### 6. 支配株主との取引等に関する事項

本取得は、支配株主との取引に該当します。

当社は、2012年7月17日付コーポレート・ガバナンス報告書において「支配株主との取引等を行う際にお

ける少数株主の保護の方針に関する指針」は定めておりませんが、今般の決議においては次の措置を講じております。

(1) 公正性を担保するため及び利益相反を回避するために講じた措置

当社は、公正性を担保するため及び利益相反を回避するために、今般の決議を、本取得の相手方となる可能性がある株式会社ドン・キホーテから派遣された取締役である越塚孝之、安本龍司及び栗原裕二を除いた取締役でも決議するとともに、今後、本取得について検討するに当たって、当社及び本取得の相手方と利害関係のない第三者による取得資産の評価等を参考とすることを確認しております。

(2) 当該取引等が少数株主にとって不利益なものでないことに関する支配株主と利害関係のない者から入手した意見の概要

現時点では、取得資産の具体的内容、取得価額等の条件について決定しておらず、適切な意見の形成が困難であるため、意見を入手しておりませんが、今後、本取得を最終的に決定するまでに取得する予定です。

以 上